

## 中期計画達成に向けて

### CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 03 当期業績のご報告
- 04 事業別概況
- 06 2014年9月期の見通し
- 07 中期計画の一部見直し
- 09 CMO事業の強化
- 11 IPD事業の進展
- 12 連結財務諸表
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ／healthクリニックの健康コラム  
単元未満株式をお持ちの株主様へ

# CMIC REPORT 2013

## シミックレポート 2013

シミックホールディングス株式会社 第29期 ビジネスレポート  
2012.10.1-2013.9.30



**CMIC**

Pharmaceutical Value Creator



**中村和男**  
代表取締役会長兼社長 / CEO

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

医薬品業界におきましては、薬価改定や後発医薬品の普及促進等を通じた医療費抑制策の推進、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界においては、各業務の迅速化及び効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大と多様化を背景に市場規模が緩やかに拡大傾向にあり、企業合併や異業種からの新規参入等、業界再編も進みつつあります。

このような環境の下、当社グループは皆様のご支援のおかげをもちまして、売上高50,934百万円(前期比1.3%増)、営業利益4,156百万円(前期比6.1%増)と、過去最高の売上・利益を達成し、創業以来連続で増収となりました。

しかしながら、2013年6月、当社連結子会社のサイトサポート・インスティテュート株式会社が担当した治験支援業務において、計測データの不正記載の疑いに関する報道がなされました。本件について、株主の皆様にご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。現在、この報道を受け、弁護士、医療関係者を

含む外部の専門家で構成される「専門家調査委員会」による調査が進められており、調査報告書を受領後、速やかにご報告させていただきます。当社といたしましては、グループの品質管理体制およびコンプライアンス体制を一層強化するとともに、早期の信頼回復に努めてまいります。

医薬品業界では、政府の新たな成長戦略において、医療関連産業の活性化や科学技術イノベーションの創出に向けた産官学の連携・協力が促進され、アカデミアとの連携やパイプラインの導入を通じて、製薬企業が新薬開発力強化に積極的に取り組む動きが加速しております。また、国内製薬企業がアジアをはじめとする新興国での事業拡大に取り組む一方で、海外バイオベンチャーが日本市場に積極的に参入する等、開発・製造・販売のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズが引き続き拡大するものと考えております。

当社グループは、独自の事業モデルであるPVC(Pharmaceutical Value Creator)において、各事業領域の基盤や個々のサービスの一層の強化を図るとともに、事業間シナジーを更に追求し、中期計画の達成に向けた新たな施策に取り組みます。事業の収益性と生産性を高めることにより、株主の皆様への還元に努めてまいりますので、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### シミックグループのビジネスモデルと事業内容

#### PVC

(Pharmaceutical Value Creator):  
製薬企業の価値最大化を支援するシミックグループ独自のビジネスモデル

#### CRO事業

(Contract Research Organization)

##### 医薬品開発支援:

製薬企業などに対し、医薬品の開発に関するサービスを提供する事業

#### CMO事業

(Contract Manufacturing Organization)

##### 医薬品製造支援:

製薬企業などから医薬品などの製造および分析化学サービスに係る業務を受託する事業

#### CSO事業

(Contract Sales Organization)

##### 医薬品営業支援:

製薬企業などに対し、医薬品の営業・マーケティング支援や、医薬・医療に特化した一般派遣業務等を行う事業

#### ヘルスケア事業:

主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進に関するサービスを提供する事業

#### IPD事業

(Intellectual Property Development)

##### 知的財産開発:

診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬(希少疾病用医薬品。オーファンドラッグとも言う)をシミックグループが自社で開発する事業

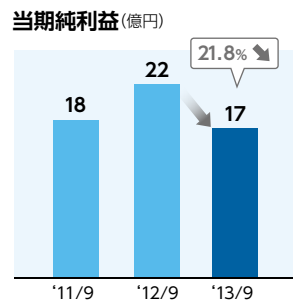
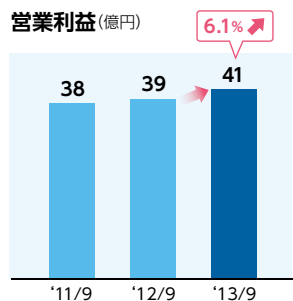
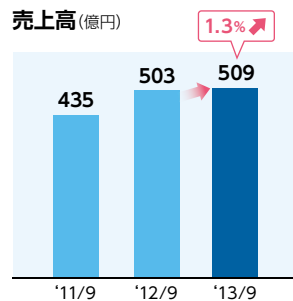
# CRO事業が牽引し、12期連続増収・増益を達成

当期においては、2012年11月13日発表の中期計画に基づき、各事業において既存事業の強化および新規施策に取り組みました。

連結業績につきましては、CRO事業が堅調に推移したことなどにより、売上高は50,934百万円（前期比1.3%増）、営業利益は4,156百万円（同6.1%増）となりました。

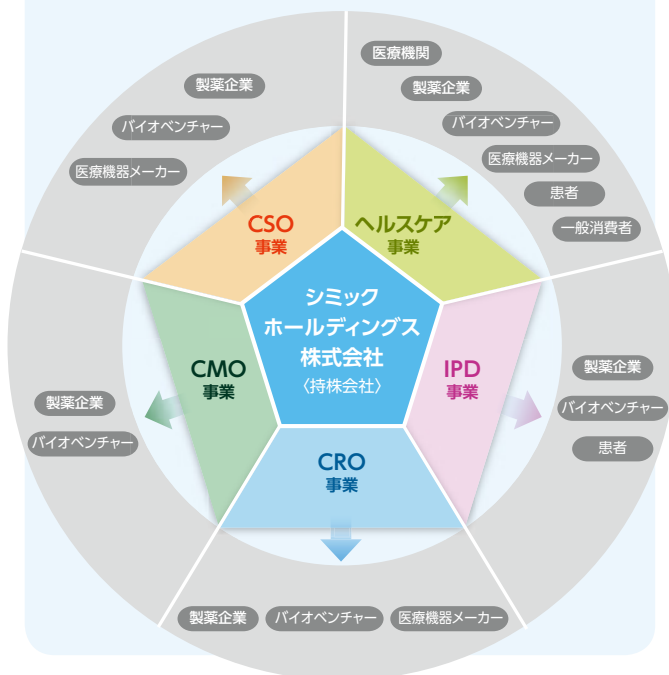
経常利益は、契約精算金等の一時的な費用を営業外費用に計上したことなどにより3,941百万円（同2.8%増）となりました。

当期純利益は、2012年3月に実施した完全子会社同士の合併に伴う税金費用の減少という一時的要因がなくなったことなどにより、1,753百万円（同21.8%減）となりました。



## Pharmaceutical Value Creator

独自のビジネスモデル「PVC (Pharmaceutical Value Creator: 製薬企業の価値最大化)」を掲げるシミックグループ。製薬企業をはじめとして、医療機関や医療機器メーカー、バイオベンチャーへの支援、患者さんへの自社開発医薬品の提供、一般消費者への健康情報提供など、さまざまなお客様に対してサービスを提供しています。これら多くの企業・人々への支援を通して、人々の健康維持や健康増進に貢献してまいります。



2013年4月1日付の組織変更に伴い、医療・医薬に特化した一般派遣業務を行う(株)シミックBSのセグメントをヘルスケア事業からCSO事業に変更しております。業績につきましては、変更後の区分に基づいて記載しております。

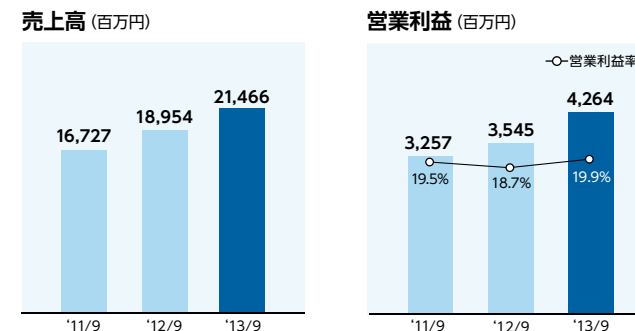
## CRO (医薬品開発支援) 事業

主に製薬企業に対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

**売上高** モニタリング業務において新規受注および既存案件が順調に進捗したこと、データマネジメント業務においてシミックPMS(株)の売上が加わったことなどにより、売上高が前期を上回りました。

**営業利益** モニタリング業務を中心に全般的に業務が順調に進捗したこと、非臨床業務における採算が改善したことなどにより、前期を上回りました。

**Topics** 製造販売後調査や安全性業務受託を行うシミックPMS(株)が営業を開始しました。また、マレーシアに現地法人を設立し、アジア地域におけるCRO事業の強化に取り組んでいます。



モニタリング: 臨床試験の実施基準に従って実施・記録および報告されているかを確認すること。  
データマネジメント: 臨床試験で集めたデータをデータベース化し、適性に管理すること。  
PMS (Post Marketing Surveillance): 製造販売後の安全監視のための調査。

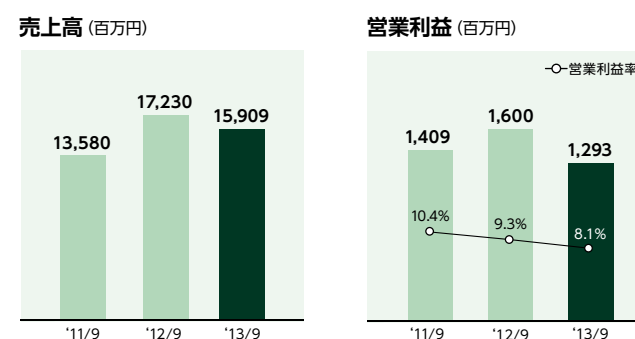
## CMO (医薬品製造支援) 事業

主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業

**売上高** シミックCMO(株)において、新規案件の受託生産があったものの既存案件の一部製品の受託生産量が減少したことなどにより、売上高が前期を下回りました。

**営業利益** 製造費用の圧縮などによるコスト削減に努めましたが、前期を下回りました。

**Topics** 分析化学サービスなどの事業分野の強化を図るため、(株)JCLバイオアッセイと資本業務提携をしました。また、固形剤の生産能力の向上および注射剤の受注機会の創出を図るため、田辺三菱製薬(株)と足利工場を譲り受けることで合意しました。



## 2014年9月期の見通し

2014年9月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は当期に比べ微増にとどまるものと想定しています。営業利益は、CMO事業およびヘルスケア事業の受注減少に伴う利益率の低下により、当期に比べ大きく減少する見通しです。これに伴い、当期純利益につきましても減少を見込んでいます。

### セグメント別売上高見通し(百万円)

|         | '13/9(実績) | '14/9(見通し) |        |
|---------|-----------|------------|--------|
| CRO事業   | 21,466    | 23,500     | 9.5%▲  |
| CMO事業   | 15,909    | 14,700     | 7.6%▼  |
| CSO事業   | 5,199     | 6,500      | 25.0%▲ |
| ヘルスケア事業 | 8,857     | 7,300      | 17.6%▼ |
| IPD事業   | 283       | 500        | 76.2%▲ |
| 内部取引消去  | △782      | △1,000     |        |
| 合計      | 50,934    | 51,500     | 1.1%▲  |

### CRO事業

国内リーディング企業として医薬品に加え医療機器関連事業の強化、PMS関連事業およびアジア事業の拡大に取り組んでいきます。CRO事業においては、引き続き堅調に受注が推移していることから、増収増益を見込んでいます。

### CMO事業

製剤化検討から治験薬製造、商業生産まで医薬品製造にかかる総合的なサービス提供体制の確立を進めるとともに、新規受注獲得に向けた営業体制の強化に取り組んでいきます。2014年下期から足利の製剤工場の業績が加わることで予定される一方で、シミックCMO株の既存案件において受託生産量の大幅減少が見込まれることから、減収減益を見込んでいます。

当レポートに記載されている業績予想並びに将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

### セグメント別営業利益見通し(百万円)

|         | '13/9(実績) | '14/9(見通し) |        |
|---------|-----------|------------|--------|
| CRO事業   | 4,264     | 4,390      | 3.0%▲  |
| CMO事業   | 1,293     | 450        | 65.2%▼ |
| CSO事業   | 449       | 620        | 38.1%▲ |
| ヘルスケア事業 | 643       | △210       |        |
| IPD事業   | △785      | △660       |        |
| 調整額     | △1,708    | △2,090     |        |
| 合計      | 4,156     | 2,500      | 39.8%▼ |

### CSO事業

MR派遣業務を行う(株)シミックエムピーエスエスにおいて提携しているAshfield(株)との連携を強化し、サービスモデルの拡充に取り組んでいきます。MR派遣業務等において受注の引き合いが増加し採算も改善していること、一般派遣業務等も堅調に推移していることから、増収増益を見込んでいます。

### ヘルスケア事業

直近の受注の減少傾向及び現在入手している情報に基づき、減収減益を見込んでいます。

### IPD事業

オーファンドラッグの研究開発費の計上および(株)オーファンパシフィックにおける販売費用等が発生しますが、販売の強化とコスト低減等により、増収と営業損失の減少を見込んでいます。

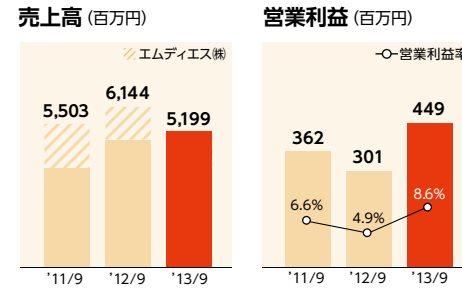
## CSO(医薬品営業支援)事業 主に医薬品の営業・マーケティング支援や医薬・医療に特化した一般派遣業務等を行う事業

**売上高** (株)シミックBSの業務量が増加しましたが、2012年7月より連結対象会社であったエムティエス(株)が持分法適用会社となったため、CSO事業全体の売上高は前期を下回りました。

**営業利益** MR派遣業務などにおいて採算が改善したこと、一般派遣業務などが好調に進捗したことにより、前期を上回りました。

**Topics** ヨーロッパ最大級のCSO「Ashfield Group」の日本法人であるAshfield(株)と提携し、日本における新たなサービスモデルの提供を開始しました。

**MR(医薬情報担当者)**: 医療機関に対して、医薬品の効能や副作用などに関する情報の提供と収集にあたる専門スタッフのこと



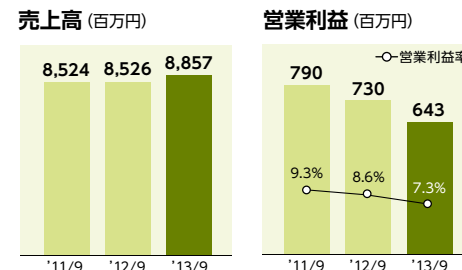
## ヘルスケア事業 医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

**売上高** 主力のSMO業務において既存プロジェクトが進捗したこと、ヘルスケア情報サービスにおいて新規案件を獲得したことなどにより、前期を上回りました。

**営業利益** SMO業務において難易度の高い試験の増加に伴い、プロジェクトの原価率が上昇したことにより、前期を下回りました。

**Topics** SMO業務の受託プロトコル(治験実施計画書)数は2,500に達しました。

**SMO(Site Management Organization) 治験施設支援機関**: 臨床試験を実施する医療機関から委託を受けて医療機関の治験業務を支援する企業・組織

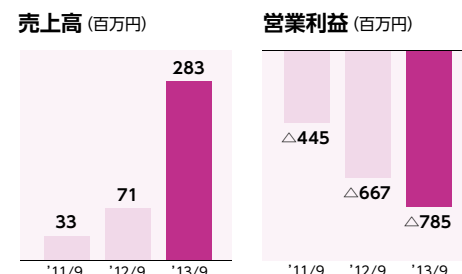


## IPD(知的財産開発)事業 自社にて知的財産を開発する業務

**売上高** L-FABP診断薬の販売量の増加やオーファンドラッグ「ブフェニール®」および「ノーモサング®」の販売開始により売上高が増加しました。

**営業利益** 研究開発費および(株)オーファンパシフィックにおける販売立ち上げにかかる費用などの計上により、営業損失が発生しています。

**Topics** L-FABP診断薬を欧州で販売開始しました。オーファンドラッグ「ブフェニール®」および「ノーモサング®」の販売を開始しました。



## 中期計画の一部見直し

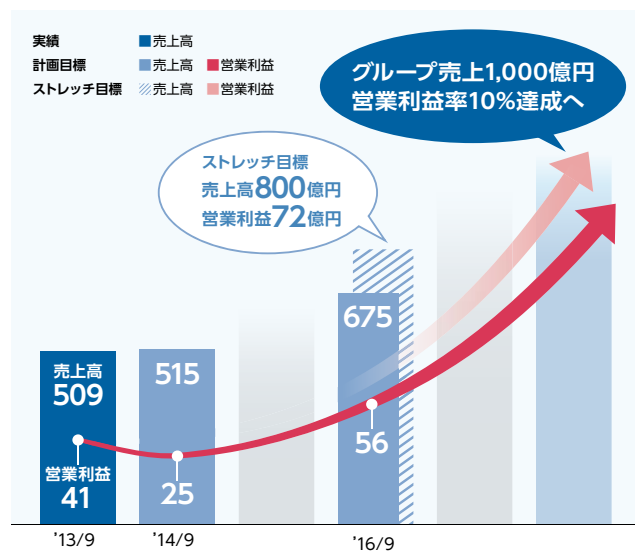
当社は、2012年11月13日に公表した中期計画（2013年9月期から2016年9月期まで）の最終年度の計数目標を一部見直すことといたしました。

当社グループは、医薬品の研究開発から製造、営業・マーケティングまでのバリューチェーンを総合的に支援する事業モデルPVC (Pharmaceutical Value Creator) の推進や国際展開、知的財産開発の促進等の経営戦略により、中期的な事業成長を目指しております。

初年度である2013年9月期は、CRO事業において重点施策であるPMS事業の促進やアジア展開の強化、CMO及びCSO事業においてM&Aやアライアンスを行うなど、中期計画の達成に向けた取り組みを着実に進めてまいりました。

しかし、2014年9月期の業績予想値につきまして、CMO事業およびヘルスケア事業の成長が、当初想定の中期計画のマイルストーンに対し達成が困難な状況になっていることから、現中期計画の計数目標を見直すことといたします。

当社グループは今後とも各事業の基盤強化を図るとともにPVCとしてのサービスの付加価値向上に努め、新たな計画達成に向けて既存事業の強化と新規施策に取り組んでまいります。



## 中期計数目標 (億円)

|       | 2013(実績) | 2016         |              |              |              |
|-------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|       |          | 計画目標※1       |              | ストレッチ目標※2    |              |
|       |          | 2012.11.13公表 | 2013.11.14公表 | 2012.11.13公表 | 2013.11.14公表 |
| 売上高   | 509      | 700          | 675          | 1,000        | 800          |
| 営業利益  | 41       | 63           | 56           | 100          | 72           |
| 営業利益率 | 8.2%     | 9.0%         | 8.4%         | 10.0%        | 9.0%         |
| ROE   | 9.2%     | 16.0%        | 14.2%        | 16.0%以上      | 16.0%        |

※1 計画目標: 既存事業の伸長を織り込んだ計画 ※2 ストレッチ目標: 更に新規施策、M&Aからの伸長を織り込んだ目標

## セグメント別中期計数目標 (億円)

|               | 2013(実績) |       | 2016 |         |         |     |          |       |
|---------------|----------|-------|------|---------|---------|-----|----------|-------|
|               | 売上高      | 営業利益率 | 計画目標 |         | ストレッチ目標 |     |          |       |
|               |          |       | 売上高  | CAGR*   | 営業利益率   | 売上高 | CAGR*    | 営業利益率 |
| CRO事業         | 215      | 19.9% | 273  | 8.4% ↗  | 19.1%   | 305 | 12.5% ↗  | 18.9% |
| CMO事業         | 159      | 8.1%  | 201  | 8.0% ↗  | 6.3%    | 210 | 9.7% ↗   | 6.6%  |
| CSO事業         | 52       | 8.6%  | 105  | 26.4% ↗ | 10.9%   | 150 | 42.4% ↗  | 10.8% |
| ヘルスケア事業       | 89       | 7.3%  | 96   | 2.9% ↗  | 8.5%    | 115 | 9.0% ↗   | 11.3% |
| IPD事業         | 3        | -     | 15   | 73.5% ↗ | -       | 45  | 151.2% ↗ | 2.2%  |
| 調整 (相殺及び全社費用) | △8       | -     | △15  | -       | -       | △25 | -        | -     |
| 合計            | 509      | 8.2%  | 675  | 9.8% ↗  | 8.4%    | 800 | 16.2% ↗  | 9.0%  |

※CAGR=年平均成長率

## 今後の取り組み

グループ各事業と各地域の相互連携による事業シナジーを高めることにより、サービスの付加価値向上に努め、PVCによるバリューチェーンを網羅した総合的な支援体制の強みを活かしていきます。

### CRO事業

開発初期段階から製造販売後までの一貫したサービス提供と、医療機関との連携を通じた臨床試験の効率化および人材育成の強化ならびに業務効率の向上を図り、競争優位性を強化します。

### CMO事業

CROとの連携を通じた治験薬製造、高品質な製品の製造と人材育成、国内拠点のマネジメント統合により製造原価の低減と生産性の向上に取り組めます。新規受託製品の獲得に努め、製剤開発技術力を特徴とするCMOとしての基盤強化を図ります。

### CSO事業

多様化する製薬企業のマーケティングを支援する新サービスの創出に取り組み、人材ビジネスを通じて顧客の業務効率向上・コスト低減につながる提案を行うことで事業拡大を図ります。

### ヘルスケア事業

「患者様中心の医療の実現」を目指し、製薬企業や医療現場に対する支援業務および新規事業などを通じて、疾患予防・治療や健康維持・増進に関するビジネスの構築に取り組めます。

### IPD事業

診断薬事業の利益創出に取り組むとともに、オーファンドラッグの開発と販売体制の構築を推進し、知的財産の活用と利益創出を図ります。

## CMO事業の技術力強化への取り組み

シミックのCMO事業は、国内外5拠点で製剤開発、治験薬製造、医薬品製造および分析・試験受託を行っています。お客様の多様なニーズに対応するために技術力を強化し、受託拡大に取り組んでいます。

### (株)応用医学研究所に新研究棟を建設

(株)応用医学研究所は、医薬品分析に特化した受託試験機関です。品質保証事業では日本有数の受託実績があり、薬物動態事業ではバイオ医薬品を含む医薬品全般の試験を実施しています。北海道石狩市に新研究棟を建設し、2013年10月に稼働しました。これまで複数拠点に分かれていた研究センターを集約し、より効率的な試験受託体制が整いました。

新研究棟(石狩研究センター)



### シミックCMO(株)の富山工場に新製造棟を建設

2013年9月、新規受託案件に対応するため、富山工場に高濃度アルコール製剤製造にも対応した新製造棟を建設しました。富山工場の生産能力は従来の2倍以上に拡大し、国際的な品質管理基準(PIC/S\*)にも対応しています。2014年春の生産開始に向けて、現在急ピッチで準備を進めています。

※「PIC/S」国際的な製薬査察協力機構



高濃度アルコール製剤対応製造棟(富山工場)

### 足利工場の譲受について 田辺三菱製薬(株)と合意

2014年4月に田辺三菱製薬工場(株)足利工場の譲り受けと、現有製造品目の生産受託の継続を主な内容とした株式譲渡契約を2013年11月に締結しました。足利工場は、固形剤、注射剤を生産しており、CMO事業の主力剤形である固形剤の生産能力向上が期待され、注射剤受託の拡大も目指してまいります。

### 海外CMOと連携

イギリス、ドイツ、イタリアにおいて6拠点を展開している国際的な医薬品開発製造受託機関、Aesica(エシカ)社と、ヨーロッパと日本における営業力強化、および米国における新しいビジネスチャンスの創造のため、相互協力することを合意しました。今後、Aesica社との相互補完的な関係を活用し、グローバルビジネスの拡大を狙ってまいります。



CMIC CMO Korea Co., Ltd.

CMIC CMO USA Corporation

### シミックCMO(株)に製剤開発センターを新設

2013年10月、静岡事業所内に製剤開発センターを新設しました。これまで蓄積した技術力と品質保証力を活かし、製剤化検討から治験薬製造のサービス拡大を行っています。現在、受注状況は順調であり、高稼働の状況が続いています。

製剤開発センター(静岡事業所)



2013年8月23日

# オーファンパシフィック社で、 ノーモサング®の販売を開始しました。

急性ポルフィリン症用の薬剤として販売開始したオーファンドラッグ「ノーモサング®」。シミックグループでは2013年1月に販売開始した「ブフェニール®」に続いて、2番目に販売するオーファンドラッグです。



製品名 ノーモサング®点滴静注250mg  
一般名 ヘミン  
効能・効果 急性ポルフィリン症における急性発作症状の改善

## 急性ポルフィリン症とは

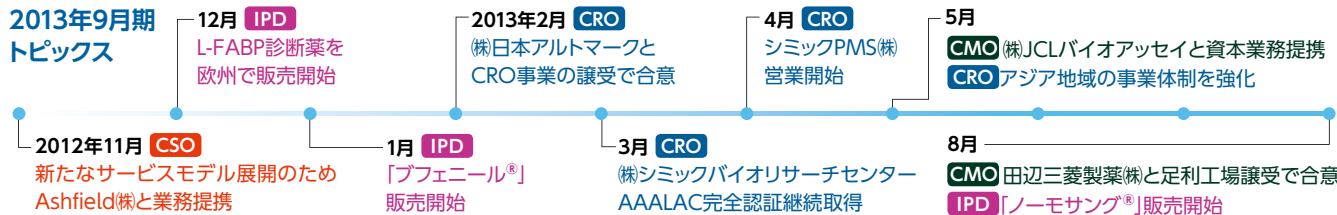
肝臓に含まれる酵素の活性が遺伝的に低下することによって、腹痛、便秘、嘔吐、高血圧、頻脈やけいれんなど、様々な症状があらわれる疾患です。重症の場合、四肢の麻痺へと進行し、更には死亡に至るとの報告もあります。日本国内での推定受診患者数は約36人です(2009年の疫学調査による)。

## 開発の経緯

ノーモサング®は欧州では1985年に承認され、急性ポルフィリン症の急性発作の第一選択薬となっていますが、日本ではこれまで医薬品として認可されていなかったため、早期の開発が望まれていました。

必要性が高いにもかかわらず、開発が見送られてきたオーファンドラッグでしたが、当社がノーモサング®の国内製造販売承認を取得し、グループの力を合わせ2013年8月に販売開始となりました。

この疾患は遺伝性がある、ということは分かっていますが、発現頻度が低く特徴的な症状がないため、他の病気の診断をされることもあるそうです。疾患の認知度を上げるために、医療機関や患者さんへの働きかけを継続するとともに、オーファンドラッグを通じて患者さんへ、そして社会に貢献してまいります。



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

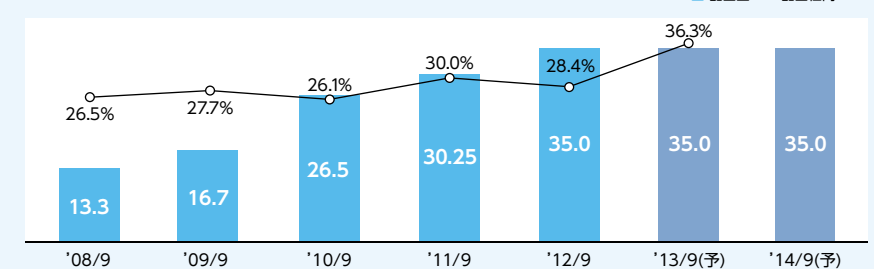
| 科目             | 前期<br>2012年9月30日現在 | 当期<br>2013年9月30日現在 | 増減額         |
|----------------|--------------------|--------------------|-------------|
| <b>資産の部</b>    |                    |                    |             |
| 流動資産           | 24,486             | 22,891             | △1,594      |
| 固定資産           | 17,779             | 19,963             | 2,184       |
| 有形固定資産         | 12,254             | 14,466             | 2,211       |
| 無形固定資産         | 2,166              | 2,128              | △38         |
| 投資その他の資産       | 3,357              | 3,369              | 11          |
| <b>資産合計</b>    | <b>42,265</b>      | <b>42,855</b>      | <b>589</b>  |
| <b>負債の部</b>    |                    |                    |             |
| 流動負債           | 14,581             | 13,677             | △904        |
| 固定負債           | 8,980              | 9,576              | 595         |
| <b>負債合計</b>    | <b>23,561</b>      | <b>23,253</b>      | <b>△308</b> |
| <b>純資産の部</b>   |                    |                    |             |
| 株主資本           | 18,814             | 19,682             | 867         |
| その他の包括利益累計額    | △226               | △131               | 94          |
| 少数株主持分         | 114                | 51                 | △63         |
| <b>純資産合計</b>   | <b>18,703</b>      | <b>19,601</b>      | <b>898</b>  |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>42,265</b>      | <b>42,855</b>      | <b>589</b>  |

**ポイント 1 資産合計**  
総資産は、前期末に比べ約6億円増加し、428億円となりました。主に、CMO事業などにおける設備投資による有形固定資産の増加によります。

**ポイント 2 負債合計**  
負債は、前期末に比べ約3億円減少し、232億となりました。主に短期借入金の減少などによります。

**ポイント 3 純資産合計**  
純資産合計は、利益剰余金の増加などにより約9億円増加し、196億となりました。

配当金 (単位:円)・配当性向 (%)



## 株主還元について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。

\*2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。上記のグラフおよび文中では当該株式分割に伴う影響を加味し過及び修正を行った場合の配当状況を記載しております。

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

| 科目            | 前期<br>2011年10月1日から<br>2012年9月30日まで | 当期<br>2012年10月1日から<br>2013年9月30日まで | 増減額  |
|---------------|------------------------------------|------------------------------------|------|
| 売上高           | 50,303                             | 50,934                             | 630  |
| 売上原価          | 38,729                             | 38,792                             | 62   |
| 売上総利益         | 11,574                             | 12,142                             | 567  |
| 販売費および一般管理費   | 7,655                              | 7,985                              | 329  |
| 営業利益          | 3,918                              | 4,156                              | 237  |
| 営業外収益         | 229                                | 227                                | △1   |
| 営業外費用         | 313                                | 442                                | 129  |
| 経常利益          | 3,835                              | 3,941                              | 105  |
| 特別利益          | 40                                 | 190                                | 149  |
| 特別損失          | 280                                | 202                                | 77   |
| 税金等調整前当期純利益   | 3,595                              | 3,928                              | 332  |
| 法人税、住民税および事業税 | 1,652                              | 2,252                              | 600  |
| 法人税等調整額       | △263                               | △9                                 | 253  |
| 少数株主損失        | 35                                 | 68                                 | 32   |
| 当期純利益         | 2,241                              | 1,753                              | △488 |

ポイント  
4

売上高

CRO事業、ヘルスケア事業の売上高が伸びましたが、CMO事業、CSO事業の売上高は減少しました。CSO事業の連結子会社1社が当期より持分法適用会社となったことによる影響を除くと連結全体では実質3.8%増加となります。

ポイント  
5

営業利益

営業利益は41億円と前期比6%増加となりました。CRO事業およびCSO事業が増加しましたが、CMO事業、ヘルスケア事業、IPD事業が減少しました。

ポイント  
6

当期純利益

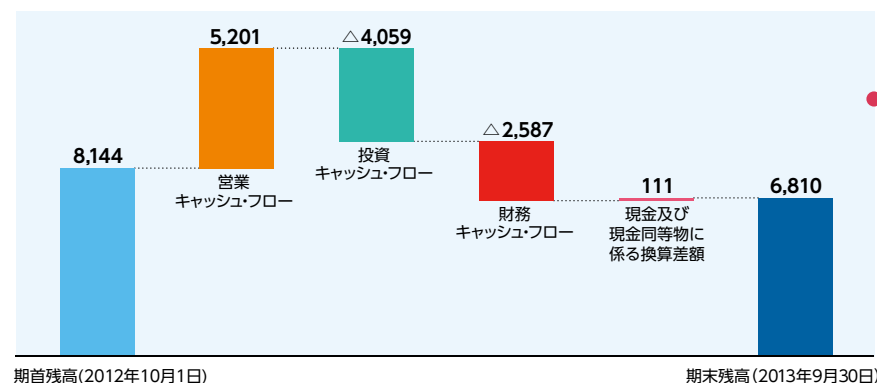
当期純利益は、昨年3月に実施した完全子会社同士の合併に伴う税金費用の減少という一時的要因がなくなったことなどにより、17億円と21%減少しました。

ポイント  
7

キャッシュ・フロー

当期の営業C/Fは利益の増加により52億円の収入、投資C/FはCMO事業における設備投資などにより40億円の支出、財務C/Fは金融機関への借入金の返済などにより25億円の支出となりました。この結果、現金および現金同等物の期末残高は、68億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



株式の状況

2013年9月30日現在

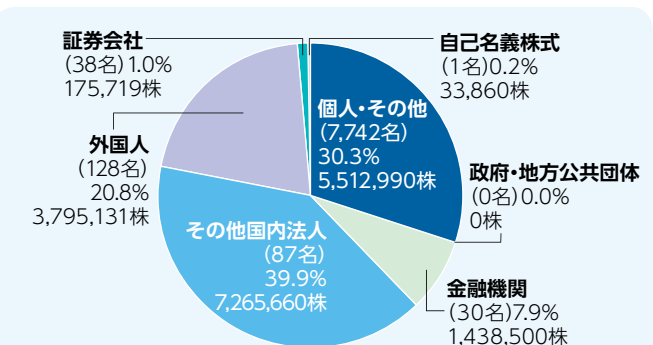
|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 46,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 18,221,860株 |
| 株主数      | 8,026名      |

大株主

| 株主名                              | 所有株式数<br>(株) | 持株比率<br>(%) |
|----------------------------------|--------------|-------------|
| 株式会社アルテミス                        | 6,368,200    | 34.94       |
| TAIYO PEARL FUND, L.P.           | 1,213,100    | 6.65        |
| 中村和男                             | 989,720      | 5.43        |
| PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP. | 827,262      | 4.53        |
| 株式会社キースジャパン                      | 719,440      | 3.94        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)        | 371,600      | 2.03        |
| TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.        | 356,500      | 1.95        |
| シミックホールディングス従業員持株会               | 344,497      | 1.89        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)          | 209,400      | 1.14        |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)           | 190,000      | 1.04        |

(注)発行済株式総数に対する持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



会社概要

2013年9月30日現在

|                   |  |
|-------------------|--|
| 商号                | シミックホールディングス株式会社   |
| 設立                | 1985年  |
| 資本金               | 3,087百万円   |
| 本社所在地             | 〒141-0031<br>東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル   |
| 事業所               | 名古屋支社 大阪支社 九州支社  |
| 従業員数              | 4,755名(連結)   |
| グループ会社<br>(連結子会社) | シミック(株)<br>シミックPMS(株)<br>(株)シミックバイオリサーチセンター<br>CMIC Korea Co., Ltd.<br>CMIC(Beijing) Co., Ltd.<br>CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD.<br>CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD.<br>シミックCMO(株)<br>シミックCMO富山(株)<br>(株)応用医学研究所<br>CMIC CMO Korea Co., Ltd.<br>CMIC CMO USA Corporation<br>(株)シミックエムピーエスエス<br>(株)シミックBS<br>サイトサポート・インスティテュート(株)<br>(株)ヘルスクリック<br>(株)オーファンパシフィック |
| (関連会社)            | エムディエス・シーエムジー(株)<br>GCP CMIC Clinplus Co., Ltd.  |

※シミックCMO(株)は、2013年10月1日付で、シミックCMO富山(株)を吸収合併しました。



## 株主メモ

|                  |  |
|------------------|--|
| 事業年度             | 10月1日から翌年9月30日まで   |
| 剰余金の配当基準日        | 9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)   |
| 定時株主総会           | 毎年12月  |
| 単元株式数            | 100株   |
| 株主名簿管理人          | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社  |
| 同事務取扱場所          | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店<br>みずほ証券株式会社 本店および全国各支店   |
| 郵便物送付先・<br>お問合せ先 | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)   |
| 公告方法             | 電子公告( <a href="http://www.cmic-holdings.co.jp/">http://www.cmic-holdings.co.jp/</a> )<br>ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。 |

### 単元未満(1株から99株)株式をお持ちの株主様へ

買取または買増をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元にすることができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

#### ■お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式分：口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式分：上記のみずほ信託銀行株式会社へ

#### ■買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



## シミツクホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル  
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077  
<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

## healthクリックの健康コラム

### おせち料理に誓う「健康な食生活」

おせち料理は、正月元旦に、年神さまを迎えて健やかな新年をお祝いし、1年の幸福を祈りながら食する料理。1年最初の料理にふさわしく、野菜、たまご、肉、魚と満艦飾のごちそうです。また、栄養学的な面からも、野菜、海藻、豆、芋など、おせちには1日に摂取したい食品がすべて登場します。1年間、おせち料理と同じようなバランスの食生活を送れば、健康に過ごせること間違いのないかも。



#### おせちの代表格

|              |   |
|--------------|---|
| 黒豆           | 肌を美しくする良質なたんぱく質、コレステロールや脂肪酸の増加を抑えるリノール酸、リレイン酸を含む。ビタミンBを多く含むため、疲労回復に効果的。   |
| ごまめ<br>(田作り) | カルシウムやミネラルが豊富。15g程度で1日の必要量600mgの3分の1を摂取することができる。                          |
| 昆布巻          | 昆布に多く含まれるヨードは、体内の代謝を活発にする。また、利尿作用を促して塩分を排泄するカリウムの含有量は食物中最高。食物繊維はごぼうの2倍以上。 |

きんたん、なますにも、体によい効果が!

この続きはhealthクリックのサイトで **おせち** を検索

▶「お正月料理を楽しもう」をご覧ください。

healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>